

部活動の締めくくりの場を迎えて

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、夏季総体や吹奏楽コンクールなどが中止となっていました。7月18日(土)から、それぞれの部活動で独自に市内大会等が開催されています。

「力を出し切るだけです。」という試合前の言葉が印象的で、集中して粘り強くプレーする姿や、声をかけあったり温かく声援を送ったり姿がたくさん見られました。



7月17日(金)には、締めくくりの場に向けて、3年生全員が体育館に集い、皆がこれまでの練習の成果を発揮できるよう、壮行会を開催しました。大会に向けての決意表明だけでなく、自分たちの活動の一端を披露する場もありました。また、学校の部活動のみならず、学校外でクラブ活動をしている生徒の紹介、eスポーツや科学研究(成層圏の観測)を全国の仲間と行っている生徒の取り組み発表もありました。

これまで取り組んできたそれぞれの努力をたたえ認め合い、大会での健闘や今後のさらなる活躍を願うみんなの気持ちがひしひしと伝わってきて、たいへんすばらしい壮行会でした。



3年生の昇降口には、各部活動の1,2年生から3年生へのお礼や激励のメッセージが掲示されています。また、大会前には、励ましのため学校を訪れる卒業生の姿も見られました。これまで輝かしい成績と伝統を残してきた卒業生から3年生へ、そして今度は、感謝の気持ちや躍動する姿とともに、3年生から1,2年生へと守南の良き伝統が受け継がれていくのですね。



かけがえのない命、そして誰もが一人として同じでない個性と限りない可能性を持っています。そのような個性を發揮し、まだ自分でも気づいていない可能性を見つけ伸ばして欲しい、またそうなるようにお互いが違いを認め合っていきましょう、そんな願いを込めて横断幕を掲示しました。



臨時休校が続き、早く学校に行きたいとか、誰かと話したいと思った人は少なくないと思います。誰かと話したり認められたりするからこそ、つらいことも乗り越えられたり、がんばろうと思えるのでしょう。そして、そのことが君にしかない個性を發揮させ輝かせていくのです。

君自身に温かい応援を、そして周りの人たちに温かい応援をしましょう。
輝け守南生！ Go for it！

*Go for it！ 「ファイト！ 応援してるよ！」という意味

流産してしまういのちもある。生まれるときに途切れてしまういのちもある。でも、あなたは生まれてきた。私たちは、生まれるべくして生まれ、生きるべくして生きている。私たちは時折、自信をなくしたり、自分が嫌いになってしまったり、毎日生きていくことに疲れてしまうこともある。あなたも学校で、友達とうまく行かなかったり、家族の中でもめごとがあったりして、朝起きるのもいやになってしまうときがあるだろう。けれど、自分は生まれるべくして生まれ、生まれ得なかったたくさんのいのちの代表としていまを生きていると思うことで、自分を励まし、他の人びととつながって生き続けていこうという勇気をよびますことができるのではないだろうか。



(小澤牧子さん作「自分らしく生きる」より抜粋、1年生道徳教科書に掲載)

Q あなたにとって、生きることはなんだろう。

「人には楽しいとか悲しいとかいろいろな感情がある。その感情をだれかと分かり合える。そして、そのことができて新たな感情が生まれることだと思う。」

「言葉に表せないくらいすばらしいこと。笑える、泣ける、喜べる、助け合える、分かち合える、幸せになれる。」

(1年生「道徳」生徒のふりかえりより)

お知らせ

○ 今年度の体育大会、キラリ☆祭(文化祭)の実施について

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年度は全校行事としての体育大会は行わず学年単位での球技大会等の実施とし、キラリ☆祭(文化祭)は9月23日(水)午後と24日(木)午後に縮小して実施予定です。

なお、参観については、いずれについてもお控えいただきたいと考えています。保護者の皆さまには、何とぞご理解をいただき、子どもたちを励ましていただきますようお願いいたします。